学校番号	3030

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　化学基礎　（第一学習社）						
副教材等	大学入試共通テスト対策　チェック＆演習　化学基礎（数研出版） サイエンスビュー　新化学資料（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎で学習した内容について、問題集・プリント等を利用しながら理解を深めてもらいます。予習や授業時間内での多様な演習を通して、自然現象に対する理解と興味を高めてください。

2　学習の到達目標

化学的な見方・考え方を学び、理論的に考える資質・能力を育成することを目指す。
(1)物質の状態や原子の構造・化学結合・物質量と化学反応式・酸と塩基・酸化還元反応に関する基本的な概念や原理に関する知識を体系的に理解し、現象を化学的に解釈し、理論的に処理する技能を身につける。
(2)化学現象の種々な条件や結論に着目し、原理・法則を用いて理論的に思考する能力、表やグラフを用いて論理的に考察・分析して結果を判断する力を養う。
(3)化学的な知識・技能を活用しようとする態度、現象を粘り強く理論的に考察し、しっかりした根拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ②学んだ内容が関連付けて整理され定着している。	①自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ②発展的な内容についても思考を展開させられる。	①自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	物質の成分と構成元素	物質の分離 単体 同素体 状態変化	a:物質を構成する元素に関する性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:物質を構成する元素や同素体、状態変化について、その性質を説明できる。 c:物質を構成する元素の性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	原子の構造と周期表	原子の構造 電子配置 元素の周期律と周期表	a:原子の構造や電子配置に関する性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:元素ごとの電子配置と元素の周期律との関連性を理解し、説明できる。 c:原子の構造と周期表に関する性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	化学結合	イオン 化学結合 結晶の分類	a:化学結合と化合物に関する性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:結合の分類と化合物の性質との関連性を理解し、説明できる。 c:化学結合に関する性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	化学反応式	原子量･分子量 物質量 溶液の濃度 固体の溶解度 化学反応式	a:化学反応式における量的関係に関する性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:化学反応における様々な量的関係について理解し、説明できる。 c:化学反応式やその量的関係に関する性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察

	酸と塩基	酸塩基の定義 水素イオン濃度 中和と塩 中和滴定	a:酸と塩基に関する反応や性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:酸と塩基に関する量的関係について理解し、説明できる。 c:酸と塩基の反応や性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	酸化還元反応	酸化数 酸化還元反応 金属のイオン化傾向 電池	a:酸化還元反応に関する性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:酸化還元反応における半反応式や量的関係について理解し、説明できる。 c: 酸化と還元の反応や性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度